

全国知事会訪中代表団

視察報告書

平成7年5月29日～6月8日

全国知事会

写真あり

5月30日（火）羅 幹國務委員との会見（北京市 中南海）

写真あり

5月29日（月）中日友好協会主催歓迎宴（北京市 釣魚台）

（齊 懷遠 対外友好協会 会長 主催）

写真あり

6月3日（土）張 道 亘 荊沙市長 歓迎宴（荊沙市）

写真あり

6月1日（月）～3日（水） 長江開発（三峡ダム）状況等視察

写真あり

6月3日（土）荊沙市公園、長江岸辺にて

写真あり

6月4日（日）長飛光線光ファイバー有限公司工場視察（武漢市）

写真あり

6月4日（日）賈志傑湖北省書記表敬訪問（武漢市 東湖賓館）

写真あり

6月4日（日）蔣祝平湖北省長表敬訪問・省長主催歓迎宴  
（湖北省政府 外弁ビル）

写真あり

6月5日（月）朱 森林広東省長表敬訪問（広州市 ホワイトスワンホテル）

写真あり

写真あり

6月6日（火）李 子彬深圳市長表敬訪問（深圳市 富臨酒店）

写真あり

6月6日（火）深圳工業展覽館視察（深圳市）



## はしがき

本会は、この度、中日友好協会の招待を受け、圓藤徳島県知事を団長とする代表団を結成し、平成7年5月29日から6月8日までの11日間中国を訪問した。

代表団一行は中国滞在中、北京において羅幹国务委員等要人と会見し懇談したほか、四川省重慶市、湖北省荊沙市・武漢市、広東省広州市・深圳市を訪問し、各省長、市長等と会見し意見の交換を行なった。また、長江における三峡ダムの開発状況をはじめ、企業、工業展覧館等の視察を行なうとともに、博物館、古寺等の文化的遺産を見学するなど、行政・産業・文化の各分野にわたって見聞した。

今回の視察を通じて、訪中代表団は中国側から友好的な歓待を受け、中国の発展・躍進の状況等について正確な情報を得ると共に、今後の日中両国間の相互理解と友好親善の発展のために有意義な役割を果たすことができた。

本報告書は、この中国訪問について、成田出発から帰国までの各地歴訪のあとをたどり、主要行事の概略を記したものである。

なお、今回の訪中にあたり、御配慮を頂いた日中両国の関係各位に厚く謝意を表する次第である。

## 目 次

	頁
1 全国知事会訪中代表団名簿	3
2 全国知事会訪中代表団日程	4
3 北京市における主要行事	7
(1) 中国日本友好協会表敬訪問	9
(2) 中国日本友好協会主催歓迎レセプション	10
(3) 羅幹国務委員会見	12
(4) 北京市人民政府表敬訪問	14
4 湖北省における主要行事	17
(5) 張道亘荊沙市長歓迎宴	19
(6) 賈志傑湖北省書記表敬訪問	20
(7) 蔣祝平湖北省省長表敬訪問・省長主催歓迎宴	22
5 広東省における主要行事	25
(8) 朱森林広東省省長表敬訪問・省長主催歓迎宴	27
(9) 李子彬深圳市市長表敬訪問・市長主催歓送会	28
6 工場視察・その他	31
(10) 工場視察	
①長飛光線光ファイバー有限公司	33
②華強三洋電子有限公司	35
(11) その他訪問・視察先	37
(12) 三峡ダム建設関係概要	38
(13) 訪中団順路図	39



## 1 全国知事会訪中代表团名簿

団 長	徳 島 県 知 事	圓 藤 寿 穂
秘 書 長	全国知事会事務総長	砂子田 隆
団 員	福 島 県 副 知 事	中 川 治 男
〃	埼 玉 県 副 知 事	湊 和 夫
〃	富 山 県 副 知 事	宝 賀 寿 男
〃	京 都 府 副 知 事	鴫 田 勝 彦
随 員	全国知事会国際部長	石 場 雅 美
〃	全国知事会国際部参事	原 重 夫
〃	徳 島 県 秘 書 課 長	里 見 光 一 郎

[ 中国側視察同行者 ]

中日友好協会副秘書長	李 鉄 民
中日友好協会職員	鄧 曉 峰

## 2 全国知事会訪中代表団日程

(7. 5. 29～6. 8)

- 5月29日(月) 10:00 成田発(JL781便) 北京泊  
13:15 北京着  
14:00 バスで市内へ移動  
15:00 貴賓楼飯店着  
16:00 中日友好協会表敬訪問  
16:30 天安門広場散策  
18:00 中日友好協会主催歓迎宴(釣魚台、八芳苑)
- 5月30日(火) 07:30 出発 万里の長城視察 北京泊  
12:00 昼食(宮廷料理 御膳)  
17:00 羅幹国務委員表敬訪問(中南海 紫光閣)  
18:00 全国知事会訪中団主催答礼宴(貴賓楼飯店)
- 5月31日(水) 08:30 北京市張百發副市長表敬訪問 重慶泊  
12:00 在北京日本大使館訪問・大使主催昼食会  
14:00 出発 空港へ移動  
15:50 北京発(SZ4646便)重慶へ移動  
18:10 重慶着  
19:40 重慶賓館着
- 6月1日(木) 06:45 出発 港へ移動 仙娜号遊覧船乗船 船中泊  
08:00 仙娜号出航
- 6月2日(金) 終日 長江開発・小三峡等視察 船中泊
- 6月3日(土) 15:30 荊沙市下船 武漢泊  
16:30 荊州古城、博物館視察  
18:00 張道亘荊沙市長主催歓迎宴  
19:10 出発 武漢へ移動(バス)  
22:30 湖賓花園飯店着

6月4日（日）09：00 長飛光線光ファイバー有限公司視察 武漢泊  
11：00 賈志傑湖北省書記表敬訪問（東湖賓館）  
12：00 昼食  
13：30 湖北省博物館視察  
15：30 黃鶴樓視察  
16：50 ホテル着  
18：00 蔣祝平湖北省省長表敬訪問（湖北省庁外弁ビル）  
18：30 湖北省主催歓迎宴

6月5日（月）09：15 出発 バスで空港へ移動 広州泊  
11：05 武漢発（CA1323便）広州へ移動  
12：55 広州着  
14：00 在広州日本総領事主催昼食会  
16：00 中山記念堂視察  
18：10 朱森林広東省省長表敬訪問（ホワイトスワンホテル）  
18：30 広東省主催歓迎宴

6月6日（火）09：00 深圳へ移動（バス） 深圳泊  
11：30 深圳富臨酒店着  
12：00 昼食  
14：00 深圳工業展覽館視察  
15：00 華強三洋電子有限公司視察  
18：00 李子彬深圳市長表敬訪問（富臨酒店）  
18：30 深圳市主催歓送会

6月7日（水）08：00 朝食 香港泊  
09：30 香港へ移動（バス）  
19：00 在香港日本総領事主催夕食会（総領事公邸）

6月8日（木）11：05 香港発（JL002便）  
16：00 成田着  
11：00 香港発（CX506便）  
15：20 関西着



### 3 北 京 市





## (1) 中国日本友好協会表敬訪問

〔日 時〕 平成 7 年 5 月 29 日 (月) 16 時～16 時 30 分

〔場 所〕 北京市 中国日本友好協会

〔出席者〕 王 效 賢 中国日本友好協会副会長  
陸 琪 中国日本友好協会秘書長代行  
李 鉄 民 中国日本友好協会副秘書長  
王 秀 雲 中国日本友好協会経済交流・都市交流部長  
鄧 曉 峰 中国日本友好協会職員

〔懇談概要〕

### ○ 圓藤 団長

- ・ 去る 1 月の阪神南部大震災に際し、兵庫県と大阪府に丁重なお見舞状を頂き感謝申し上げるとともに、この地震で亡くなられた中国からの留学生、就学生等の方々に哀悼の意を表し、被災された方々にお見舞申し上げたい。
- ・ 1972 年の日中国交回復の翌々年に知事会代表団が訪中させて頂き、これまで 4 回訪問。また、中日友好協会のご努力により、中国から 4 回、延べ 23 省が訪日している。この間、県と省の友好提携は 33 に至っており、友好交流の輪が広がり深まっていることは、喜ばしい限り。
- ・ 日本では、貿易黒字と円高により企業の海外進出が進み、アジアとの水平分業が進展してきている。現在韓国と日本の地方都市は航空路で直接結ばれているが、中国も日本の地方都市との航空路を開いて欲しい。
- ・ 貴協会のお世話により、北京の後、重慶、長江視察、武漢、

広州、深圳を訪問するが、中国の広大な大地と自然、市民生活や経済開発の状況に触れさせて頂くとともに、各地で多くの方々と会い、相互理解を深め、日中友好の絆をさらに強めたい。

全国知事会では、日中友好のさらなる発展のために、1997年の都合の良い時期に中国省長代表団を日本にご招待申し上げたい。

## ○王副会長

- ・ 日中の友好都市提携は、日中国交回復後、神戸の宮崎市長が周首相に会った時に申し出られ、1994年に神戸市と天津市が初めて提携した。
- ・ 中国では、都市提携は、始め外交部が管轄する予定だったが、中日友好協会が担当することになった。現在、中国と海外との友好提携は670組あるが、その内172組が日中の都市提携となっており、拡大してきている。
- ・ 今、日本の自治省との交流の話があるが、中国には自治省にあたるものがなく、国務院が窓口となって話を進めている。日中友好協会としては、知事会と日中友好協会の事務局同士の交流を進めたい。

## (2) 中国日本友好協会主催（齊懷遠氏主催）歓迎レセプション

〔日 時〕 平成7年5月29日（月）18時～20時00分

〔場 所〕 北京市 釣魚台 八方苑

〔出席者〕 齊 懷 遠 中国人民対外友好協会会長  
文 遲 中国日本友好協会副会長

王 效 賢	中国日本友好協会副会長
陸 琪	中国日本友好協会秘書長代行
李 鉄 民	中国日本友好協会副秘書長
王 秀 雲	中国日本友好協会経済交流・都市交流部長
鄧 曉 峰	中国日本友好協会職員

〔懇談概要〕

### ○ 圓藤 団長

- ・ 中国を訪問して僅か 2 日目だが、北京での印象は、思っていた以上に開放的である。経済は、かなりの速度で進展しているように思える。また、自転車と自動車の大洪水で、渋滞には驚かされた。
- ・ 日本の高度成長期の状況に似ている。街は、活力に溢れている。若い人々は、明るく楽しそうにしている。

### ○ 齊 懐 遠 会長

- ・ 経済はまだまだであるが、10 年前に比べると格段の進歩をした。服装は、非常にカラフルになったが、ネクタイをしている人は、まずいない。
- ・ 年収は、約 2,000 元と安い、物価も安い。北京の中心部は、発展しているが、郊外は、開発途上にあり、建築ラッシュになっている。

### (3) 羅幹国務委員会見

〔日 時〕 平成 7 年 5 月 30 日（火） 17 時～17 時 30 分

〔場 所〕 北京市 中南海 紫光園

〔出席者〕 羅 幹 中国国務委員  
齊 懷 遠 中国人民对外友好協会会長  
王 效 賢 中国日本友好協会副会長  
李 鉄 民 中国日本友好協会副秘書長  
王 秀 雲 中国日本友好協会経済交流・都市交流部長  
下荒地修二 在中国日本大使館公使

〔懇談概要〕

#### ○圓藤団長

- ・ 現在の中国の発展には、著しいものがあり、12億人のエネルギーを感じる。21世紀には世界の1、2の国になるのではないか。
- ・ 日本、中国の自治体の友好提携関係は、172に上っている。日本と中国の善隣友好関係を深めていくことが、世界の平和のために不可欠である。このためには、あらゆる分野において友好協力関係を進めて行くことが必要。
- ・ 阪神大震災では、中国人を含む42人の外国人が亡くなられた。心からお悔やみ申し上げます。この際には、中国政府をはじめ中国の多くの方々から丁重なお見舞や義捐金を頂き、知事会としても心から感謝。
- ・ 今回の訪中では、出来るだけ多くの方々とお会いし、友好関係を深めると同時に、躍進する中国の姿を拝見し、勉強して参

りたい。

### ○羅幹國務委員

- ・ 中日関係は良好であり、友好関係は新しい段階に入っている。特に、両国トップの相互訪問は有意義で、今年は、喬石氏が訪日し、村山総理が訪中されており、相互理解の増進に役立っている。また、地方政府の交流は、友好関係に役立っており、有力な団体である知事会の訪中を歓迎する。
- ・ 中国政府は、今後とも解放政策を進めるとともに、すべての措置をとって安定を維持していく。問題は、インフレが速いスピードで進行していることと、12億の人口の食糧問題を解決する必要がある。このため、農業を重視し、省長、市長に責任を持たせている。
- ・ ファシズムとの戦後50周年式典が、西側諸国で行われるが、中国では8月10日に抗日50周年記念行事を行う。若い世代を教育し、平和と安定を教えて行く。日本のリーダーである知事は、若い人に歴史とともに、中日友好関係の維持と世界の平和の大切さを教えて欲しい。

### ○圓藤団長

- ・ 日本の経済は、日本の実力を上回る急激な円高により、海外への工場進出がブームとなっている。今後、アジアとの協同、分業関係が大切であり、特に中国が大切と考えられる。
- ・ 過去に大変不幸な歴史があったことを深く反省している。このことを子々孫々に伝えていくことが大事であり、不幸な歴史を乗り越えて日中が友好関係を築き上げていくことが重要である。

## (4) 北京市人民政府表敬訪問

〔日 時〕 平成 7 年 5 月 31 日（水） 8 時 30 分～9 時 15 分

〔場 所〕 北京市 北京市人民政府

〔出席者〕 張 百 發 北京市副市長  
唐 二 北京市研究室付主任  
余 小 萱 北京市環境保護局付局長  
梁 慶 福 北京市老齡委員会秘書長  
李 供 海 北京市外事弁公室付部長

〔懇談概要〕

### ○ 團藤 団長

- ・ 北京を訪問して、巨大な都市の建設に市民がみんなで努力している姿に感動した。新しいものと古いものがうまく調和して、渾然一体となった都市づくりがなされており、興味がある。ただ、自転車が多くの多く、自動車との関係で危険な状態だと思われ、大量交通手段の整備など交通問題の解決が重要だと思う。

### ○ 張 副市長

- ・ 北京市が当面している問題は、交通、環境汚染、住宅である。交通事故での死者は、年間 400 人。地上移動が主で、バス通勤が 80% となっており、東京の地下鉄が主となっているのとは、逆である。地下鉄は現在 42km だが、建設コストが高く、中央政府からの補助がないと難しい。
- ・ 環境問題は、ゴミの清掃工場がなく、また、ゴミを焼却すると大気汚染の問題があり、すべて埋め立てている。問題は建設資金で、中央政府にもろもろの資金援助で日参している。

## ○ 圓藤 団長

- ・ 東京の地下鉄は、約 600km で、1km の建設に 300 億円がかかるが、国の援助が 2/3 ある。ゴミは、日本では燃えるものと、燃えないものの分別収集であるが、重要なのは、ゴミの減量化だ。企業責任でのリサイクルを進めている。また、日本の過度の包装の抑制も重要になっている。現在では、微生物による化学処理や燃料への再生も始まっている。ただ、ゴミの問題は一人一人の心掛けが大切だ。

## ○ 張 副市長

- ・ 北京市では、環境問題を勉強するために視察団を日本に派遣している。ゴミの分別収集を進めており、ゴミ袋を無料で配布しているが、多くの人々は、面倒なことをいやがる。やはり、一人一人の心掛けが重要だと思う。





## 4 湖 北 省



## (5) 張道亘荆沙市長主催歓迎宴

〔日 時〕 平成 7 年 6 月 3 日（土）18 時 00 分～19 時 30 分

〔場 所〕 荆沙市 荆沙飯店

〔出席者〕 張 道 亘 荆沙市長  
鄭 基 英 荆沙市副市長  
吳 寶 成 荆沙市副秘書長  
董 定 邦 荆沙市外事弁公室副主任  
鄧 延 翔 荆沙市外事弁公室友好城市科科长  
= 紫 綬 荆沙市对外友好協会会長  
王 旭 荆沙市对外友好協会副秘書長

〔懇談概要〕

### ○ 圓藤 団長

- ・ 重慶から長江を下って、荆沙市に着いたが、中国の広大さと歴史の深さを改めて実感した。先程、荆沙市の博物館で、2,000 年前のミイラとその副葬品を拝見し、感銘を受けた。荆沙市は、古くから栄え、現在でも張市長のご努力により工業が発展していると聞いており、喜ばしい限り。
- ・ 日本と中国の友好都市関係は 172 に上っているが、荆沙市は、代表団の中川福島県副知事のお膝下、会津若松市と友好関係にあると聞いており、今後ますます友好関係が深まることを期待する。

### ○ 張市長

- ・ 荆沙市は、三国史の古くから、交通の要衝として栄えた土地柄で、今年沙市と荆州地区が合併したところ。対外解放政策に

- より、海外との合弁企業が進み、日本の企業も進出している。
- ・ 会津若松市とは、友好関係にあり、活発な交流を行なっている。今回の知事団の訪問により、中国と日本との相互理解はますます深まるものと確信している。

## (6) 賈志傑湖北省書記表敬訪問

〔日 時〕 平成 7 年 6 月 4 日（日）11 時 00 分～11 時 30 分

〔場 所〕 武漢市 東湖賓館

〔出席者〕 賈志傑 中国共産党中央委員会委員 }  
中国共産党湖北省委員会書記

〔懇談概要〕

### ○ 賈書記

- ・ 1993 年 11 月に中国省長代表団の団長として訪日したが、日本の各地で、各界の歓迎を受け、特に全国知事会の支援を頂き成功裡に終えることが出来た。まず、感謝申し上げたい。また、今回の訪中団により、中国そして湖北省との交流が深まることを期待する。
- ・ 湖北省は、中国の他の地域と同じように発展を続けている。昨年の湖北省の GDP の伸びは、15.2%であった。中国全体に比べると良い方で、中国の発展の重点は湖北省に移ってきている。三峡ダム建設は、国を挙げての一大プロジェクト。また、武漢コンビナートは、1,000 万トンの鉄鋼生産を目指して、設備改造と技術改革を進めている。3 番目として、中国における自動車の生産基地として国が重点地区としている。

- ・ 中国の発展はこれまで急スピードできたが、今後は、質が問題となってくる。先月、全国科学技術大会が中央で開催されたが、これまでの単純発展から科学技術の向上を中心とした発展に押し上げていくことになる。日本は、多くの経験を有しており、日本の各界との交流を深めていきたい。
- ・ 昨年、福島県の佐藤知事も来られた。湖北省と福島県との交流の協定書が結ばれたが、本日、中川副知事にお会いできて嬉しく思う。

## ○ 圓藤 団長

- ・ 私共の訪問は中日友好協会の招きにより、北京、重慶、長江を下り、昨日荊沙市を経て武漢に入った。中国の広大な国土に驚かされるとともに、歴史、文化の深さを満喫している。特に湖北省は、「千湖の省」と言われるように大変景観が美しく、古い歴史がある。昨日、博物館を訪問し、2,000年前のミイラを見ることができ、大変興味深かった。
- ・ 産業面でも、賈先生の大変なご努力によって灌漑が進められ、農業生産が大幅に増大したと伺っているし、工業面でも、繊維だけでなく、機械類や装置産業、また、本日視察した光ファイバー等、飛躍的に発展しており喜ばしい。日本では、円高が急速に進み、その結果、中国等への海外投資が増えてきている。その中で、日本の企業と中国との合弁を通じ、中国の発展に役立つと思う。
- ・ 私共の滞在は短い期間であるが、できるだけ多くの方々に会い、友好親善を深めていきたい。また、アジアと世界の平和のためには、日本と中国の果たす役割は益々高まって来る。両国が、揺るぎのない友好関係を続けていくことができるよう心から祈念する。

## ○中川副知事

- ・ 湖北省を訪問でき嬉しく思う。また、賈先生にお会いでき光栄。昨年、佐藤知事が大変お世話になった。交流協定を結んで以来、貿易、青少年、科学技術を含めて交流が盛んになってきている。賈先生の力添えのお陰と感謝。今後とも、両県、省の親密な友好関係が発展し、理解が深まることを祈念する。

## (7) 蔣祝平湖北省省長表敬訪問・省長主催歓迎宴

〔日時〕 平成7年6月4日（日）18時00分～20時00分

〔場所〕 武漢市 湖北省人民政府

〔出席者〕 蔣 祝 平 湖北省省長  
馬 國 平 湖北省老齡工作委員会副主任  
陳 春 林 湖北省外事弁公室副主任  
何 世 平 湖北省外事弁公室副主任  
吳 福 仁 湖北省環境保護局副局長  
王 旭 湖北省對外友好協會副秘書長  
趙 鶴 增 湖北省外事弁公室科長

〔懇談概要〕

## ○蔣省長

- ・ これまでの日中の知事、省長の交流を通じて、両国の間と地方同士の相互理解が深まっている。賈前省長が1993年に中国代表団の団長として訪日し、各界の歓迎を受けた。また、昨年5月に福島県の佐藤知事が40数人の団員とともに湖北省を訪問され、両県省が人材と技術交流の合意書に調印した。これ

により、相互交流の新しい 1 ページが開かれた。

- ・ 今回の訪中団が各地を訪問され、湖北省をはじめ中国との交流が、さらに深まることを祈念する。各県の皆さんにも湖北省にこられるよう伝えて欲しい。
- ・ 湖北省は、中国の真中部分に位置し、古くから武漢は 9 省に通じる場所と言われ、交通の弁が良い。水路は、長江と漢水があり、鉄道は、北京－広州－香港線が貫いている。武漢空港以外に 5 つの地方空港を有している。
- ・ 農業は昔から盛んだが、対外開放以来、工業面でも発展し、電力、化学、冶金などは中国のトップクラス。また、湖北省は山が多く鉱物資源が豊かで、鉄、銅をはじめ百数十種類に及び、中国の 3/4 を産出している。
- ・ 昨年度の GDP は、15% 増で、今年の上半期は 22.3% 増になっている。輸出は 228 億ドルで 24% 増、財政収入は 26% 増加した。湖北省は、国の重点投資対象となっており、三峡プロジェクトは、2009 年に完工する。自動車は、2000 年に年 100 万台の生産を目指して、建設が始まっているし、鉄鋼生産は、1,000 万トンを目指している。

## ○ 圓藤 団長

- ・ 省長の御説明により、湖北省の事が良く理解できた。徳島県と比べると面積、人口はとても大きく、経済が著しく発展していることにお喜びを申し上げます。長江を下ってきて、三峡ダムの大さに驚き、今日は、光ファイバーの生産を見て、工業水準が高いことに感銘を受けた。
- ・ 日本では、円高が進行し、工場の海外移転が進んでいるが、中国への投資が大いに期待される。中国、日本が手を結んで、



協力関係を強めることによって、アジア、世界の平和に貢献できる。

- ・ いずれの国にも成長期と安定期がある。中国は成長期で、日本は成長期を過ぎて、安定期に入っている。お互いに優れたところがあり、相互交流を深めることによって協力し、隣国として中国の発展に協力したい。

## ○中川副知事

- ・ 今回、全国知事会の訪中団で、三国史にもある古い歴史と文化をもち、「千湖の省」として有名な美しい湖北省を訪問できてうれしく思う。去年は、佐藤知事が多くの団員とともに訪問し、各界との交流を通じて、大きな成果を上げることができ喜んでいる。
- ・ 湖北省からは、今日通訳をしてくれている趙さんを最初にこれまで3人の方々を国際交流員として迎えている。同時に工業関係の研修生を受け入れている。また、福島県から、「若人の翼」によって、多くの若い人達が湖北省を訪れており、今後も続けていきたい。
- ・ また、福島県と湖北省では、会津若松市と荊沙市との都市交流をはじめ、福島の大学と中南工業大学とで共同研究が行なわれている。また、湖北省のマスコミが来られたり、交流は活発になってきている。地方と地方の関係を深めることが国と国の関係を深めることになる。この意味から福島県と湖北省、中国の友好交流を深めていきたい。

## 5 広 東 省



## (8) 朱森林広東省省長表敬訪問・省長主催歓迎宴

〔日 時〕 平成 7 年 6 月 5 日 (月) 18 時 10 分～20 時 00 分

〔場 所〕 広州市 ホワイトスワンホテル

〔出席者〕 朱 森 林 広東省省長  
李 娟 輝 広東省外事弁公室副処長  
陳 廣 海 広東省外事弁公室科長

〔懇談概要〕

### ○朱森林広東省省長

- ・ 知事会代表団が、最後の訪問地として広東省に来られたことを心から歓迎する。知事会と中日友好協会の知事、省長の交流は、中日友好のために大きな役割を果たしてきた。現在の中国と日本の関係は一段と良くなって来ており、今年、村山総理がこられたし、中国の要人が訪日している。
- ・ 広東省の経済は中国の 1 割で、対外貿易は 4 割に及んでいる。昨年の対外貿易高は 967 億ドルで、そのうち輸出は 500 億ドルに上っている。
- ・ 広東省と日本との経済に関しては、日本の大企業だけでなく、中小企業が進出するようになってきている。松下、日立製作所、丸紅、岩谷商事、キャノンといった日本企業が進出しており、合弁等が非常に増加している。本田と中国との合弁企業が、バイクを生産しているが、広東省の慶州で自動車生産のための合弁会社が設立されている。
- ・ 広東省は、兵庫県と 83 年に友好提携をし、12 年になる。貝原知事とは古い友人で、私自身 2 回訪日しており、各界から

暖かい歓迎を受けたし、日本の発展等深い印象を得た。地方  
政府の交流は有意義であり、益々深まることを期待している。

## ○ 圓藤 団長

- ・ 5月29日から中国各地を訪問してきたが、広東省の経済の  
発展ぶりは素晴らしい。また、農業生産高、貿易額、経済成長  
率においても中国一と聞いている。広東省には5つの中国経済  
特区のうち深圳等3つがあり、明日の訪問を楽しみにしている。  
今後の広東省はめざましい経済発展が予想されアジアの中核的  
な地位を占めるのではないかと思う。
- ・ 兵庫県の話がでたが、神戸大震災の際には多額の義捐金等援  
助を頂いたと聞いており、貝原知事にかわりお礼を申し上げた  
い。貝原知事とは9日に会うので省長とお会いしたことを伝え  
たい。
- ・ 日本と中国が世界の平和と繁栄のために果たす役割は、極め  
て大きい。私達も友好親善を深めるよう努めるとともに、将来  
にわたる日中双方の良好な善隣関係を祈念したい。また、広東  
省の素晴らしさを日本の各界の人々に宣伝したい。

## (9) 李子彬深圳市市長表敬訪問・市長主催歓送会

〔日 時〕 平成7年6月6日（火）18時30分～20時30分

〔場 所〕 深圳市 富臨酒店

〔出席者〕 李 子 彬 深圳市市長  
白 天 深圳市外事弁公室主任  
王 宗 維 深圳市外事弁公室副主任

陶	明	深圳市經濟發展局局長
曾	純	深圳市環境保護局局長
胡	京生	深圳市人民對外友好協會秘書長
郭	民	深圳市政府弁公庁処長
干	敏	深圳市政府外事弁公室副処長
董	玉琴	深圳市人民對外友好協會副科長

〔懇談概要〕

### ○圓藤団長

- ・ 我々訪中団は、北京、重慶、長江を下り、武漢、広州を経て最後の訪問地深圳に到着した。それぞれに特徴があり、興味深かった。深圳では、経済発展がすばらしく、世界の中でもアジアが注目されているが、深圳の発展には特筆すべきものがあり、短期間で発展したことに感心している。
- ・ 深圳の街は活気があるが、工場と住宅とが混在しており、いい面もあるが、今後計画的な都市づくりで考慮した方が良くもかもしれない。日本も1960年代に環境汚染を経験したが、今は大分良くなってきている。今後、教育とか環境を改善していくと企業が進出し易いのではないか。
- ・ 日本では、1,300億ドルの経常黒字により円高が進行し、このため深圳のような海外に投資し、そこから日本へ逆輸出する「産業の空洞化」が問題になっている。
- ・ 日本との合弁企業が増えていると聞いているし、世界各国との合弁も進むと思う。これからアジアの各国はそれぞれ長所を活かしてアジアの発展に貢献すべきと思う。また、世界の平和と成長のためには、日本と中国の役割が益々重要になってくる。中国各都市との友好親善を通じて友好関係を続けていきたい。

## ○李市長

- ・ 深圳市は、15年前は小さな町であった。現在、開発面積は84km<sup>2</sup>あり、5つの区がある。18階以上のビルディングが600以上あり、近代都市に変化した。
- ・ 経済各部門で上海、北京、広州等に続き、第五位を占めている。例えば、GDPは全国で第7位、工業総生産も第7位、財政収入は第2位、固定資産投資額は第6位、銀行の預金では第4位、輸出は全国の15%となっている。
- ・ 世界の有名企業との合弁等で77億ドルの外資を導入しているが、深圳市を一層国際都市にしていくため、技術的な対外開放をもっと進めたい。また、道路、空港、港湾、通信等インフラ整備を進めていく。
- ・ 深圳市は、計画経済から市場経済への転換でいろいろな経験をした。これらの経験を他の都市にも活かしていくとともに、今後は、情報、金融等第3次産業を発展させていきたい。  
現在、人口が大きな問題となっている。また、環境も開発規模が大きくなり、少しずつ悪くなってきているので対策をとっていきたい。

## 6 工場視察 その他





## (10) 工場視察

### ①〔視察先〕 長飛光線光ファイバー有限公司

武漢市咲山二路4号

〔日時〕 平成7年6月4日(日)9時15分～10時20分

〔応接者〕 董事長 吳志強氏他

〔懇談概要〕

- ・ 有限公司の有限は、株式会社を意味しており、当初はオランダのフィリップ社との合弁であったが、同社が株式を譲渡したため現在は同国ドライブ社との合弁になっている。
- ・ 設立は1991年で、経営方針は、国際レベルにあった工場管理。工場は、設立以来24時間稼働している。会社敷地は5万m<sup>2</sup>、建築面積は2万m<sup>2</sup>。従業員は367人。女性は1/3弱。中国では一番大きく、売上高は26億6千万人民元。先進国と競争できるように努力していきたい。
- ・ 製品は通信用の光ファイバーで、ファイバー1本で7千台の電話が使用できる。外から見るとガラスの糸に見えるが、いろいろな技術が必要。製品の一部は、中国で使用しているが、ほとんどが輸出用で、主に米国、豪州、ヨーロッパ、イスラエル。日本とは住友と交流がある。

Q：24時間稼働ということだが、何交替か。

A：3交替で、従業員は4組に分けられている。勤務は8時間。週39～40時間労働。いわゆる中国の4組3交替をとっている。

Q：休暇制度はどうか。

A：どの会社でも1年に18日間の有給休暇がある。

Q：ほかに光ファイバーを製造している会社があるのか。

A：商業用では唯一。他に4社あるが、規模が小さい。

Q：会社が武漢に置かれた理由は何か。

A：中国で一番有名な誘電化学研究所があり、優秀な人材が武漢にいるため。また、武漢は、中国の真中部分にあり、通信に関しては中心地となっている。当社の幹部は、研究所からきている。

Q：従業員の賃金はどれくらいか。

A：公表していない。武漢は高い方だが、沿海部より少し低い。また、優秀な人材を得るために、他の会社より高くなっている。労働者福祉は、ヨーロッパとも日本とも異なっており、社宅は、ほぼ無料で提供。保険は100%会社負担。年金も会社が負担し、現給保証している

Q：社宅にはどれくらい入っているのか。広さと従業員の負担は。

A：200人位入っており、既婚の150人は全員社宅。160人位が別に住んでいる。面積は一般従業員が70m<sup>2</sup>、エンジニアが85m<sup>2</sup>、幹部が100m<sup>2</sup>～120m<sup>2</sup>。30元の住宅手当を出しており、足りない部分は本人が払う。

Q：年金は、最近では最終給与の60～70%と聞いているが。

A：当社は、人材確保のため国と連動せず厚くしている。

## ②〔視察先〕華強三洋電子有限公司

深圳市深南中路 34 号

〔日 時〕 平成 7 年 6 月 6 日（火）15 時～16 時

〔応接者〕 助理總經理 赤木 功氏 他

〔懇談概要〕

- ・ 当社は中国の深圳華強有限公司と日本の三洋電機の合弁企業で、1984 年 7 月に設立され、今年で 11 年目を迎える。資本金は 1,500 万 US\$ で、出資比率は 50 : 50 となっており、合弁期間は 20 年となっている。
- ・ 日本の会長である董事長は中国から、社長である總經理は日本人となっている。従業員は約 2,000 人で男女比率は半々。また、二つある工場の平均年齢は、28 才と 19 才となっている。
- ・ 生產品目は、テレビ、音響関係、ビデオ。テレビはカラーテレビだけで、中国国内向けが 30%、日本向け輸出が 70%となっている。中国国内向けが好調で去年は 80 万台生産した。CD、ラジカセ等音響関係は年間 140 万台。ビデオは 13 万台となっているが、今後増加が予想される。
- ・ 勤務時間は、8 時から 17 時 30 分。10 時と 15 時に 15 分間の休憩、それに昼食は食堂がないので 1 時間半の休憩で、実労は 7 時間半となっている。土曜日は隔週半ドンで週 44 時間労働となっているが、政府は今後 2 年以内に 40 時間労働とするよう通達している。

Q : 平均賃金はどうなっているのか。

A：賃金体系が複雑な面があるが、月 1,500 元、日本円で 1 万 5 千円位。内陸部と比べ沿岸部では 2 倍位となっている。

Q：所得税を納めている人は何人ぐらいか。会社が納めているのか。また、収益はどれ位か。

A：会社は法人税を納めている。所得税はほとんど納めていない。収益は 1.7% 位。政府から 3% に上げるよう言われている。

Q：ここにある 25 インチのカラーテレビの値段はいくらか。また、日本への輸出価格との比較は。

A：現地で 4,700 円で売っている。日本に持っていくと 1.7 倍になる。香港を経由しての輸送コストや、日本での取扱いコストが含まれる。

Q：外注が多いと聞くが、日本からの関連企業はきているのか。

A：成形、プレス、金型、トランス等日本メーカーに呼び掛けて進出してもらっている。

Q：経済特区でのメリットはなにか。特区から中国国内に入る場合関税はあるのか。借入金はどこから借りるのか。

A：日本の保税地区と考えていい。日本からの部品輸入は無税で、再輸出する場合も税金はかからない。中国国内に入れるときは関税が 40% かかるが、特区だと 15% で済む。完成品の場合は、日本からだと関税が 80% かかる。借入れは中国の銀行の利率が高いので香港の銀行を使っている。

## (11) その他訪問・視察先

① 5月31日（水）

在中華人民共和国日本国大使館  
特命全權大使 佐藤嘉恭氏

② 6月3日（土）

荊沙市博物館  
湖北省荊沙市

③ 6月4日（日）

湖北省博物館  
湖北省武漢市

④ 6月5日（月）

在広州日本国総領事館  
総領事 柳瀬友彦氏

⑤ 6月6日（火）

深圳市政府工業展覽館  
深圳市華強北路經濟大 = 2 楼

⑥ 6月7日（水）

在香港日本国総領事館  
総領事 野上義二氏

## (12) 三峡ダム建設関連概要

場 所 : 湖北省宜昌市三斗坪 葛洲 ダムから 38 キロ  
ダム長さ : 3,035m  
ダム高さ : 185m (正常の貯水水位 175m)  
ダム容量 : 393 億 m<sup>3</sup>  
発電ユニット : 26 基 (一基あたり 70 万 Kw 合計 1820Kw)  
年間発電量 : 847 億 Kw/H (1993 年中国発電量の 1/9 相当)

ダム全長 : 663 キロ  
水面面積 : 1,045 平方キロ  
水没面積 : 600 平方キロ (湖北・四川省の 20 の市、県に及ぶ)  
移民数 : 100 万  
総工事費 : 500 億人民元 (93 年 5 月価格水平計算の場合)  
移民費 : 400 億人民元 (93 年 5 月価格レベル計算の場合)

工事期間 : 17 年間  
一期目 (1993~1997) 川を堰き止める  
二期目 (1998~2003) 最初のユニット発電スタート  
三期目 (2004~2009) 26 基のユニット全部発電 工事終了

四つのメリット : 洪水の防止、発電、養殖、航行 (輸送)

### (13) 訪中団順路図

写真あり